

秋まき4-5月どりキャベツの栽培

- 栽培が技術的に難しく、端境期となる4-5月どりキャベツを栽培
- 安定した供給体制を確立し、周年を通じて安定した収入を目指す

●秋まき4～5月どり栽培の特徴

- ・ある大きさになった株が、平均気温13℃以下の低温に一定期間遭遇すると花芽分化するため栽培が難しい
- ・寒くなる前に大きく育ちすぎると、寒さにあたって春に花が咲いてしまう
- ・寒さが去った春から肥大させようとする、4～5月収穫に間に合わない
- ・花芽分化しないぎりぎりの大きさまで生長した株で越冬し、春の温度上昇期に、急スピードで球肥大を進める

●栽培する上での留意点

- ・露地栽培の4月中旬～5月上旬どりは暖地で可能(立地条件)
- ・冬季の気温が低下する中間地ではトンネル被覆を行う(資材利用)
- ・気象条件で収穫期が変動しやすい
- ・播種が早すぎると抽だいする
- ・適品種は寒玉系の中では特異的な早生性と晩抽性を持つが、早生性が強い、裂球は早く、収穫適期が短い

●秋まき4～5月どり寒玉系キャベツの作型と品種

地域	作型	適品種	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
暖地	秋まき 5月どり栽培	錦恋 ことみ かんろく など	●		●	▼				■	■	■
	秋冬まき 5～6月どり栽培	さつき王 かんろく さつき女王 など	● ●	▼ ▼	-----	-----	-----	-----			■	■
中間地	トンネル栽培	YR春空		⬢ ⬢		⌒	⌒			V	■	
		かんろく、錦恋 YR天空 など		⬢	⬢	⌒	⌒			V	■	■

凡例) ●: 播種 ⬢: ハウス育苗 ▼: 定植 -----: べたがけ ⌒: トンネル被覆 V: トンネル除去 ■: 収穫

●栽培事例

【佐賀県】 播種: 10/15、25 定植: 11/20、12/5、収穫: 5/8

【調査結果】 品種: 「さつき王」、「かんろく」、「錦恋」、実証面積: 20a

品種名	播種日	定植日	全重 (g)	結球重 (g)	収量 (kg/10a)
さつき王	10月15日	11月20日	3,350	1,900	7,240
かんろく			3,590	1,940	7,390
錦恋			3,440	1,860	7,090
さつき王	10月25日	12月5日	3,100	1,680	6,400
かんろく			2,880	1,440	5,490
錦恋			3,290	1,700	6,480



5.5t～7.4tの収量を確保

【大分県】 播種: 10/22、定植: 10/23、24、収穫: 5/9

【調査結果】 品種: 「錦恋」、「かんろく」、「さつき王」、「ことみ」、「YR天空」、実証面積: 20a

品種名	耕うん方法	結球重 (g)	収量 (kg/10a)
錦恋	アップカット ロータリー	2,080	9,900
かんろく		1,900	9,040
さつき王		1,670	7,950
錦恋	ダウンカット ロータリー	1,760	8,380
ことみ		1,870	8,900
YR天空		2,160	10,280

水田圃場であったため、額縁明渠等の排水改善対策を実施。また、アップカットロータリーでの耕うんにより、増収が認められた。